

秋日和の函館山トレッキング

実施日 令和3年9月19日(日曜日) ルート=旧登山道一千畳敷コース一千畳敷砲台跡(戦闘指令所跡)―旧登山道

参加者 CL小山内・河村・SL藤木・澤田・SL渡邊・藤木(た)・太田・八重樫・近藤・川村・津川・笹山・小笠原・増川
森永・戸島

行動予定=5:30梶別-6:10伊達道の駅-9:10函館山ロープウェイ駅P-9:30登山口-10:00函館山-11:00第二砲台跡
昼食-11:40-13:30函館山登山口→ロープウェイ駅P-17:30伊達道の駅解散-18:30梶別

天候=晴れ 気温27℃

快晴の空の下、集合場所の伊達道の駅には車中泊をされている沢山の車両が止まってました。
そんな中、我々会の超大型リムジンバス(笑)2台が到着！全員で集合の後にいざ出発
到着までの間は車中からの景色も最高！駒ヶ岳や雄鉾岳、横津岳等を見ながらの景色も到着までの道中は楽しめました。



我が会の美女軍団！景色を堪能する。



何やら相談？(笑)

函館山ロープウェイPに到着後も快晴 近藤さんの号令の元に準備体操～登山口～の開始!!



★ここで、ちょっとだけ函館山について説明を ★

函館山(334m)函館要塞の歴史

函館山では1898年から要塞建設が始まり、1905年までに山全体に砲台や発電所、観測所など17の施設が建設された(津軽要塞)。この時に山の頂上を削ったため、標高が348mから334mと低くなった。また、函館山が要塞地帯になったことで、山全体が軍事機密となり、地形図から函館山が消えた。函館山の測量はもちろん、一般人の入山や函館山の写真を撮影すること、スケッチをとること、函館山に関する話題も厳しく制限された。第二次世界大戦終結で要塞としての存在意義を失った函館山一帯の国有地は、所管する大蔵省(現在の財務省)から函館市へ無償で貸し付けられた。津軽要塞はアメリカ軍によって解体され、翌1946年10月に大蔵省から一時使用の許可を受けた函館市は12月に函館山管理事務所を設置、函館山は一般市民に再び開放された。

1948年に函館市はこの一帯326.6haを都市計画法に基づく都市計画緑地「函館山緑地」とした。戦後は夜景の名所として全国的に有名になる。

2001年「函館山と砲台跡」として北海道遺産に選定された。最近では中国からの観光客が多い。 * Wikipediaより引用

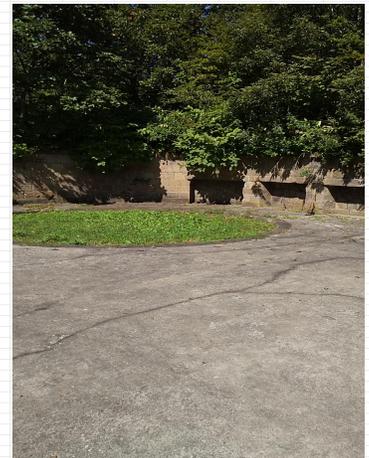
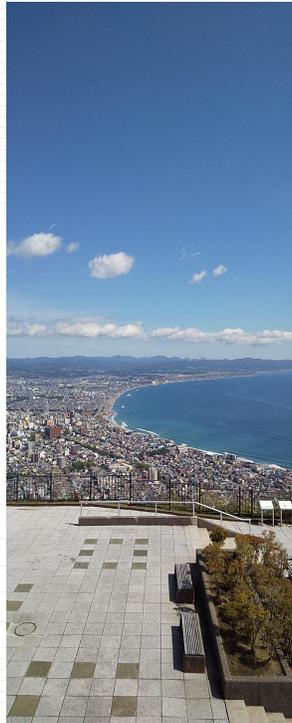
このような歴史があったようです。



いや～最高の景色だね～



全員集合！！



砲台跡です

帰り道にラッキーピエロに行きましたが、流石の連休！
行列は1時間待ち！
諦めて帰路に無事到着しました。

記録 戸島光彦